

# 平成22年度 連結財務4表を公表します

■問い合わせ 財政課 財政係 ☎75-2118

平成22年度決算の状況に基づいて、資産や負債、コストなど企業会計の考え方をういて、連結貸借対照表、連結純資産変動計算書、連結行政コスト計算書、連結資金収支計算書の4つの財務書類を作成しました。市に関連する外郭団体を含めた連結財務4表を公表します。

これらの財務書類から、多久市は平均的な水準であることが分かりますが、今後とも資産の有効活用や債権管理の強化などを図っていきます。

## 対象になる会計の範囲

普通会計（地方財政統計上の会計区分で、一般会計、土地区画整理事業特別会計）だけでなく、病院事業や国民健康保険などの公営事業や、消防事業などの事業を他の市町と共同で行う一部事務組合や広域連合、土地開発公社や市の出資比率の高い第3セクターなどを含みます。

なお、一部事務組合や広域連合を連結する場合は、負担割合等に応じて連結します。

## 連結貸借対照表（バランスシート）

市が保有する資産の状況とその資産をどのような方法で賄ったかを表します。

左側にこれまで取得した資産を表示し、右側に資産を形成する際に要した資金の調達方法を負債（将来にわたって負担すべきもの）と純資産（資産と負債の差・既に負担した市税や国・県からの補助金など）に分けて表示しています。

資産からは、市の貯蓄や施設などを金額でとらえることができ、負債からは、市が借りているお金や将来負担することになる金額が分かります。純資産は、市が持っている実質的な財産が分かります。

(単位：百万円)

これまで形成した資産〔資産の部〕		資産を形成するための財源〔負債の部〕	
1 公共資産	66,774	1 固定負債	19,113
有形固定資産(※1)	63,497	地方債(翌年度償還予定分を除く)	16,742
無形固定資産(※2)	1,669	長期未払金	5
売却可能資産	1,608	退職手当引当金等(※3)	2,366
2 投資等	6,951	2 流動負債	1,880
投資および出資金	427	翌年度償還予定地方債	1,442
貸付金	82	未払金等	438
基金等	6,319	負債合計	20,993
長期延滞債権	223	(将来の世代が負担するお金)	
その他	0		
回収不能見込額	△100		
3 流動資産	4,802		
資金	4,463		
未収金	351		
その他	△12		
資産合計	78,527	〔純資産の部〕	
		純資産合計	57,534
		(これまでの世代が負担してきた資産)	
		負債・純資産合計	78,527